

平成24年度 第6回公立大学法人鳥取環境大学経営審議会 議事要旨

- 日 時 平成25年2月6日（水） 14:00～16:10
- 場 所 鳥取環境大学 大会議室（本部講義棟3階）
- 出席者 古澤巖理事長、河原正彦副理事長、田中洋介理事、道上正規理事、若原道昭理事、清水昭充委員、林田英樹委員、吉田圭子委員
[8名/10名]

【議事】

1 前回議事要旨の確認

原案のとおり了承

2 報告事項

(1) 近況報告

事務局から資料に基づき在籍者の状況、就職活動状況、入試実施状況等大学の近況について報告があった。

委員による主な意見等は次のとおり。（○:質問・意見、→:回答 以下同様）

- 鳥取県内の企業からの大卒求人の実態を調査し、県内からの求人増加を各方面に働きかけてほしい。

3 審議事項

(1) 公立大学法人鳥取環境大学監事監査規程（案）について

事務局から資料に基づき説明があり、審議の結果原案のとおり承認された。

- 監事、会計監査人はどのように決めるのか。

→設置者が任命する。

- 内部監査の実施状況はどのようになっているか。

→現在は、研究費の内部監査を実施している。

- 大学として大学院も早い時期に設置し、教育の質を高めてほしい。

(2) 平成25年度予算（案）について

事務局から資料に基づき平成25年度予算について説明があった。説明に先立ち、本事項は次回の審議会でも継続して審議予定であることが説明された。

- 予算の構成は他の公立大学と比べてどうなのか。

→近県の公立大学の目的別支出額を別紙のとおりまとめた。

本学の予算構成は公立大学として標準的なものであると考えている。

○施設の補修は専門家の分析等も含めて、長期的な計画に添って行う方が、結果的に施設の寿命を延ばすことにもなる。

→設置者からの助言等も受けながら、必要に応じて予算措置も含めて対応していきたい。

○施設関連の専門職員の配置も必要なのではないか。

→正職員を配置することは困難であり、現在は外部委託している。今後の在り方については課題としていきたい。

○志願者数を定員の5～6倍で試算しているが、経営学部の志願者数の確保は現時点で考えておくべきである。国際交流の拠点としての役割を明確にする等、戦略的に考えてほしい。

○経営学部の魅力づくりには、教員の力によるところが大きい。教員も志願者確保に積極的に取り組んでほしい。

○広報費は予算案で十分なのか。

→広報媒体のバランスを取りながら戦略的に広報を行っていきたい。

(3) 平成25年度 年度計画(案)について

事務局から資料に基づき平成25年度年度計画について説明があった。説明に先立ち、本事項は次回の審議会でも継続して審議予定であることが説明された。

○メンタルヘルスケアにも注意しておく必要があるのではないか。

→大学として十分に認識しており、保健師だけでの対応には限界もあるため、臨床心理士を学内に配置することを検討している。

4 学長選考会議委員の選任について

河原正彦副理事長、田中洋介理事、林田英樹委員が委員として選任された。

5 その他

(1) 新生公立鳥取環境大学運営協議会概要について

事務局から資料に基づき、運営協議会(2月4日開催)について説明があった。

(2) 平成24年度「鳥取環境大学との産官学連携に関する懇談」の開催について

事務局から、近況の報告の中で案内があった。